

# CAD教育通し建設業支援

コンピューター・エイデッド・デザイン。いわゆるCADは、最近では2次元から3次元へと進化して、建設業界でもなくてはならないツールになっている。このCADを教育やソーシャルネットワークを通じて、建設業界に導入支援しようというのがシーキューブ（本社・新潟市、本川勇次社長）だ。もともと金型などの製造業向けにソフトウェア販売事業を手掛けていた同社は、同様に利用頻度の高い建設業向けにも展開を始めた。システムソリューションに加え、オペレーターの育成、さらに土木・建築学科を持つ新潟県内の工業高校にCADを導入し建設産業を支える若者の育成にも一役買っている。

自動車、家電、機械、金型といった製造業の世界に3次元CADが導入されたのは、建設業よりもずいぶん以前からだ。本川社長は、大学卒業後すぐに金型メーカーで3次元CADのシステム構築に携わり、システム開発から次第に事業構築へと興味が移っていった。東京の技術商社や新潟のCAD販売サポートなどを経て、2000年に念願の会社設立を果たした。

「人生は七難八苦、筋書きのないドラマだ。何がよいことになるかは分からない」と話す。

建設業界におけるCADの浸透度は、大手の建設会社で



## シーキューブ 社長 本川 勇次氏



### 新潟県内で情報提供オペレーター教育も

あれはともかく、地元の中小建設会社にはまだまだ導入が進んでいないのが実情だ。最近では地方自治体の電子入札や、国のCADS/ECなども一般化してきているが、実際に地元企業からは「ファイルの開き方がわからない」などの問い合わせも多い。

「これは子どもや学生のころからCADに触れなくては、地域の建設業界は親しみを持ってくれない」。こう考えた思いから、新潟県内の建築・土木学科を持つ9つの工業高校すべてにCADを導入するよう働きかけて実現し、授業を通じてCADに対する垣根を取り払っていった。夏休みには、県内のシヨッ

ピングセンターに出向き、子ども向けのCAD体験教室を開く。「教育の世界では、理系離れも課題になっている。まずはそれを食い止めた。近い将来、高校生同士が課題に沿ってCAD作品を競い合うコンテストも県内で開く予定だ」という。

2005年からは、ウェブ上にCAD関連商品を総合的に取り扱う『CAD百貨』を立ち上げた。オートキャド、ベクターワークス、ライノセラスなど主力ソフトに加え、データ変換ソフト、ハードウェアなども一堂にそろえた『百貨店』だ。設計事務所や国立機関など向けに5000

新潟市中央区上近江にある本社にはCADのトレーニングセンターも併設し、CADオペレーターの認定センターとして多くの技術者を送り出している。またコンピューターソフトウェア協会とともにCAD利用技術者試験も運営している。

オペレーターを教育すれば働く場の提供も必要になる。会社として一般労働者派遣認定を取得し、オペレーターの派遣・職業紹介も行っている。人材不足が顕著になりつつある建設業界に対して、CADにかかわるインキュベーション（ふ化）機能を提供している。

## ネット上に“百貨店”を開設



「地方は情報が少ないので、地元建設業界に対して情報提供を進めたい」といい、ソーシャルネットワークといったツールも活用して、広いコミュニティを作り上げたい考えだ。

社名のシーキューブは、チャンス、チャレンジ、チェンジの3つのCをとったもので、「機会に挑戦し変革していく」という想いを託した。02年7月には、日本証券業協会が創設した株式公開制度のグリーンシートに株式上場を果たしている。

- ▷設立＝2000年1月
- ▷本社所在地＝〒950-0973 新潟市中央区上近江1-7-13
- ▷電話番号＝025-290-0011（代表）
- ▷ファクス＝同284-3723（代表）
- ▷拠点＝CSセンター・キャリアカレッジ（本社所在地）、キャリアカレッジ県央（燕市井土巻3-65 県央サティ2F）、CADステーション群馬（群馬県太田市吉沢町1058-5）
- ▷資本金＝4,560万円
- ▷事業内容＝総合エンジニアリングサービス。システムソリューションとしてのCAD、CAM、CAE、PLMシステム販売、エンジニアリングサービスとしての導入としての設計技術者、中国人派遣、インターネットを通じたCAD百貨店運営とウェブサイト構築、教育システムソリューションとしての教育コンテンツ企画・製作・販売
- ▷URL＝http://www.ccube.co.jp/

### 会社概要

#### CAD百貨のHP

